

令和5年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	「きいばす」カーボンニュートラル教育強化に向けた展示充実事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	<p>2050年カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー需給高度化の体験・展示ツールとして、ライフスタイルにおけるエネルギー消費構造の高度化の重要性・必要性を体験・理解できる消費者視点のカーボンニュートラル展示設備として「断熱体験展示ルーム」を整備した。</p> <p>この展示ルームでは、断熱構造のみ異なる2つの部屋（高断熱ルーム、低断熱ルーム）を整備し、各部屋の中に設置した空調を使って、室内の温湿度や消費電力・消費電力量の推移を比較できるように、測定データを表示するデータ表示盤を整備した。</p> <p>また、通常は目にすることができない部屋の壁や床に使用されている断熱材の構造断面を見せるほか、実物の断熱材そのものも展示し、断熱技術の可視化と理解を深める取り組みを行っている。</p>	
総事業費	33,932,800円	
補助金充当額	33,932,800円	
定量的目標	入館者数48,000人／年度	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>来館者に対して、先進的で効率的な設備を導入した高断熱ルームと、一般的な低断熱ルームについて、温湿度等の比較を体験してもらうことにより、住宅のゼロエネルギー化に対する意識の向上が図られた。</p> <p>また、きいばす主催のイベントで、令和6年12月に実施した「2024きいばすクリスマス・サイエンスキャンプ」の建築部門において、断熱体験展示ルームを活用した探究学習を実施し、参加者のエネルギーに対する理解の促進やエネルギーへの関心の向上が図られた。</p> <p>なお、令和6年4月から12月末の入館者数は、約7,617人であり、引き続き本設備を活用しながら目標達成を目指す。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度きいばす断熱体験展示物製作工事実施設計業務 2. 令和5年度きいばす断熱体験展示物製作工事 3. 令和5年度きいばす断熱体験展示物製作工事発注者支援業務
	契約の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指名競争入札 2. 指名競争入札 3. 随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	<ol style="list-style-type: none"> 1. (株)トータルメディア開発研究所 2. (有)大同工務店 3. (有)山口設計事務所
	契約金額（間接補助金額）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2,519,000円 2. 30,500,800円 3. 913,000円
来年度以降の事業見通し	きいばす館内展示の一つとして、断熱体験展示ルームを活用する。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和6年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	「きいぱす」エネルギー環境教育推進事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」において、再生可能エネルギーの普及・啓発につながる見学会、各種教材を活用した講座、体験等を開催した。	
総事業費	11,098,426円	
補助金充当額	11,081,046円	
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	令和6年度の入館者 13,000人	
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	<p>令和6年度の入館者 8,610人</p> <p>令和5年度は、四半期ごとのイベント開催であったのに対して令和6年度は2回開催予定だったが、うち1回は大雪のため中止となった(R7.2.23(日))。</p> <p>団体数は、令和5年度に比べ12団体増(うち学校受入れ9団体増)となっており、複数年リピートで来館される団体もある。最近の傾向としては、大規模校(100人規模以上)の受入れが増加傾向となっている。</p>	
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 (提案書から転記)	入館者 48,000人	
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況【任意】	<p>令和7年度の入館者 10,000人</p> <p>来館者数の増加に向けて、春先に、令和6年度来館された学校(団体等)に対し、翌年度も来館いただくよう呼び掛ける。また、GW中に開催していたイベントを数週間程度ずらすことで、より多くの学校、企業に出展・協力していただく。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ: 間接補助を行った場合は、間接補助先記を記載)	契約(間接補助)の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. きいぱす体験会実施業務 2. ロボットプログラミング体験会開催業務 3. ステージショー開催業務 (きいぱす GW フェスタ 2024) 4. クリスマス・サイエンスキャンプ運営補助業務
	契約の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 随意契約 2. 随意契約 3. 随意契約 4. 随意契約

	契約の相手方（間接補助先）	1. (株)旅工房 2. (株)アフレル 3. (株)マインドアンドサウンドライフ 4. (株)旅工房
	契約金額（関節補助金額）	1. 6, 637, 103円 2. 477, 400円 3. 462, 000円 4. 435, 156円

来年度以降の事業見通し	来館者に生活を支えるエネルギー供給の現状や再生可能エネルギー普及の必要性等について理解を深めてもらい、エネルギー構造転換に対する理解促進を図るために、来年度以降も事業を実施する。
-------------	---

（備考）

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和6年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	美浜町ゼロカーボン・スマートタウン実施設計業務
補助事業者名	福井県美浜町、福井県
補助事業の概要	「スマートで自然と共生する持続可能な地域」という将来像の実現に向けて、美浜版ゼロカーボン・スマートタウンの造成に向けた測量・地質調査・設計業務を実施した。
総事業費	19,448,000円
補助金充当額	19,448,000円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	令和4年度の可能性調査結果、令和5年度の基本構想、基本設計を基に、令和6年度については、実施設計を取りまとめることで、美浜町ゼロカーボン・スマートタウンの整備工事のため、配置計画や事業費積算等の具体的な事業設計を行うことができる。 新たな暮らしの提供により人を呼びこみ、地域の活性化を図ることで、移住・定住の促進による町内への人口増加が見込まれ、それによる地域経済の成長が見込まれる。 令和8年度には、美浜町ゼロカーボン・スマートタウンの分譲開始を予定していることから、住民だけではなく、地域外に向けても再生可能エネルギーについて理解促進を図ることができる。
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	本事業の完了により、美浜町ゼロカーボン・スマートタウンの整備工事のための配置計画や事業費積算等の具体的な事業設計をまとめることができた。
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 (提案書から転記)	令和8年度までに当該分譲地内に、スマートハウス専用区画として、10区画程度の分譲開始。令和13年度までにスマートハウス専用区画の完売。 そのために、町内外に向けた広報に取り組み、スマートハウス向け支援制度の設計・運用を行い、スマートハウスに居住する住民を増加させて、再生可能エネルギーについての理解促進を進めていく。
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況【任意】	令和6年度はこれまでの調査結果や基本構想、基本設計の内容を踏まえて、スマートタウンの造成に向けた実施設計を行った。 令和7年度より、用地買収等の造成工事に向けた準備作業に着手し、令和8年度末の分譲開始に向けて工事等を進めていく。 分譲開始後については、新たな暮らしの提供により人を呼び込み、住民だけではなく、地域外に向けても再生可能性エネルギーについて理解促進を図る。また、移住・定住の促進による町内への人口増加により地域経済の成長が見込まれる。

補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	令和6年度スマートタウン推進事業 美浜町スマートタウン整備工事に伴う調査・測量・設計業務
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方(間接補助先)	株式会社エイコー技術コンサルタント
	契約金額(間接補助金額)	19,448,000円
来年度以降の事業見通し	<p>令和7年度より、用地買収等の造成工事に向けた準備作業に着手し、令和8年度末の分譲開始に向けて工事等を進めていく。</p> <p>分譲開始後については、新たな暮らしの提供により人を呼びこみ、住民だけではなく、地域外に向けても再生可能エネルギーについて理解促進を図る。また、移住・定住の促進による町内への人口増加により地域経済の成長が見込まれる。</p>	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。